

協 育

自信と誇りを培う教育の推進

東根市立第三中学校

学校だより

令和7年度 第5号

(令和7年8月19日)

「ウェルビーイング(Well-being)」につながるたくさんの学び

～ たくさんの体験からウェルビーイングについて考える ～ 校長 竹内 斉

7月は、たくさんの講師の方からの講話や、ワークショップ、体験型講座に取り組む機会、部活動等の経験からウェルビーイングにつながる学びの機会が数多くありました。

☆24日のPTAしこたんセミナーで実施した、菅谷内 敦(すがやち あつし)様からの

「7トーク【山形県第7次教育振興基本計画(7教振)について県民と語り合う場】」より

菅谷内様は、山形県教育委員会教育局の職員で、今年度から実施されている「7教振」について、県内の各地でその趣旨を伝える活動を担当しています。7教振では、これまでの方針が教育関係者の中だけに留まってしまっていたことを踏まえ、教育は広く県民全体でその目標の実現を期していくものという考えから、県民の一人一人がその方針を共有することを目指しています。今回は、親と子、教職員が席を並べる場で、7教振の基本的な考え方や目標「ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり」について学び、大切にしている「挑戦」について対話を行うワークショップを行いました。菅谷内様の問いかけに、会場が穏やかな雰囲気となり、建設的なつぶやきがたくさん聞こえる場となりました。



☆9日実施の今田 裕美(こんだ ひろみ)様からの「まちづくり」・「カーボンニュートラル実現」ワークショップについて

今田様からは、昨年度に続き生徒対象のワークショップを実施していただきました。今田様はSDGsコンサルタントとして活躍されており、中学生でもSDGsを学べるカードゲームなどを開発し、各地で講師をされています。今回も1、2年生はSDGsの目標「住み続けられるまちづくり」をテーマとした「地方創生カードゲーム」を実施し、3年生は「カーボンニュートラル」についてゲームを通して学びました。生徒はゲームのなかで様々な立場が割り当てられている仲間と情報交換しながら、目標実現をめざしてゲームに取り組みました。総合的な学習の時間を使っての活動でしたが、課題の解決に向けて主体的に取り組む姿が随所で見られました。意欲的に対話し、協力することが課題解決につながることを実感する場となりました。



☆3日実施の安保 寛明(あんぼ ひろあき)様からの「SOSの出し方講座」と、23日実施の着衣泳と心肺蘇生法講座について

全校生を対象に、県立保健医療大学の安保寛明様からSOSの出し方について講話をしていただきました。心を紙風船に例えて説明をしていただいたり、生徒同士の意見交流の場を設定していただいたりしながら心のSOSの出し方についてご教示いただきました。また、23日には、セントラルフィットネスクラブ東根から3名の講師をお招きし、水難事故に備えた着衣泳の泳法や心肺蘇生の方法について学びました。生徒は初めての着衣での水泳に戸惑いながらも水に浮く感覚をつかんだり、心肺蘇生のポイントについて学んだりしました。心と身体の両面から「いのち」について考える機会となりました。

[しこたんセミナーでは県警本部の舟山有子様からSNSの危険性についても御講話いただきました。]



一学期終業式より(7/25)

～ 一学期の頑張れ・振り返り ～

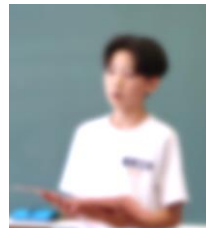
1年生代表 ○○○○

僕が一学期頑張ったことは、三つあります。一つ目は勉強です。僕は、数学があまり得意ではありませんでしたが、わからないところがあったら、自分で調べて考えることができました。それでもわからないときは、友達や先生に聞き、完璧にわかるまで、「ほっとノート」で繰り返し復習しました。二学期のテストでは目標点数をとれるように、他の教科でもさらに頑張りたいです。二つ目は部活動です。先輩にたくさんのことを教えてもらいました。県大会に向けて、先輩方がしっかりと取り組めるように、大きな声で応援したり、バット拾いなどの仕事を素早く行ったりしました。大会本番では、よりいっそう大きな声を出して応援することができました。先輩がランニングホームランを打ったときは、とても嬉しかったです。負けてしまったときは、とても悔しかったけれど、チーム全体で全力を出すことができました。新人戦では、教えてもらったことをしっかりと発揮できるようにしたいです。自分で、本を読んだり、自主練習をしたり、コーチや監督に聞いたりしながら、さらに頑張っていきます。三つ目は委員会活動です。給食委員として、わからない仕事があったら先輩にすぐに聞いて取り組むことができました。委員の仲間やクラスみんなに声をかけて配膳をスムーズに進めることができました。



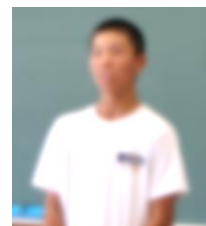
2年生代表 ○○○○

僕が一学期頑張ったことは三つあります。一つ目はテスト勉強です。一日10分はするという目標を立てました。10分くらいならするかとやる気が出て、10分で終わらず30分、1時間と続くと思ったからです。他にも集中するために、進まなくなったら教科を変えたり、勉強の妨げになるスマホやゲーム機を遠くに置いたりすることで集中して学習に取り組むことができました。次のテストでは、テスト期間前にワークを終わらせて、勉強がスムーズに進むようにしたいです。二つ目は部活動です。大富中との合同チームになり、最初は緊張し、あまり話していませんでした。ナイスシュートなどの声かけを意識しコミュニケーションを心掛けて、仲良く協力して練習できるようになりたいです。そして、三年生との最後の大会では、ベンチから気持ちをこめて全力で応援しました。新人戦に向けて三年生のように最後まであきらめないうでプレーしたいと思います。三つ目は、階段アートです。得意な絵を生かして三中の校舎の絵と部活動のイラストを描きました。階段に貼られる責任感を持ち、写真等を参考に描きました。校舎の絵は建物の構造を意識して描きました。部活動の絵では、それぞれの部活動を意識して、三中生がほしいという思いをこめて描きました。その結果、先生たちから「絵上手だね」とほめられてうれしかったです。これからも階段アートなどで、三中を盛り上げていきたいと思っています。



3年生代表 ○○○○

一学期、私は野球と勉強の両立に力を入れて頑張りました。野球では先頭打者として試合の流れをつくる役割を担いました。プレッシャーから、最初は調子を崩しましたが、自主練習でフォームを見直し、気持ちを切り替えることで少しずつ打てるようになりました。この経験から、結果にこだわらず、自分の役割をしっかりと果たすことの大切さを学びました。そして、地区総体優勝とクラブチームでの全国大会出場をはたすことができました。県大会という大きな舞台では、先生方、保護者、生徒たちが、暑い中応援してくれました。初戦は勝利しましたが、2回戦で負けてしまいました。この大会を通して、たった一つのミスが勝敗を分けることに改めて気づきました。一方で、勉強は思うようにはいかず、去年から数学が課題でした。公式や解き方をすぐ覚えられず、テストでは点数が伸びませんでした。三年生になり進路のこととも考えるようになり、毎日少しでも問題を解く時間をつくるように心がけました。わからないところは友達や先生に聞き、あきらめずに取り組みました。その結果、少しずつ授業の理解度が上がってきています。そしてこれからは英語にもっと力を入れたいと思っています。修学旅行で東京に行ったときに、たくさんの外国人が生活していることが分かりました。僕も東京で働くかもしれないので、話す力や聞く力を伸ばして、将来役立てたいという気持ちが強くなりました。この一学期を通して、野球も勉強も、すぐに結果が出なくてもあきらめずに続けることの大切さを実感しました。これからも、どんなことにも挑戦し続けて、自分の成長につなげていきたいです。



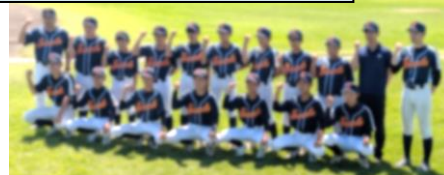
※県中総体(7/19・20)の結果

『水泳』 **第1位** 女子100m バタフライ・女子200m バタフライ
○○○○ **全国・東北大会出場権獲得**

第2位 女子50m 自由形 **第5位** 女子200m 個人メドレー
○○○○ **東北大会出場権獲得**

『野球』 1回戦 (勝)8-1(6回コールド) 対 鶴岡三中
準々決勝 (惜敗)2-4 対 米沢イースタンユース

地域の皆様からもたくさん応援していただきました。ありがとうございました。



～9月の主な行事日程～

日(曜)	主な予定	日(曜)	主な予定
2(火)	3年保育実習(東部こども園)	17(水)	専門委員会
4(木)	地区英語弁論大会	18(木)	新人総体壮行式 常任委員会
5(金)	学校集金振替日	20(土)・21(日)	地区中新人総体(3年実力テスト)
8(月)	テスト前学習会～9日	22(月)	振替休業日
10(水)	2学期中間テスト	23(火)	秋分の日(祝日)
15(月)	敬老の日(祝日)	25(木)	体育祭練習開始～10/1